



TOKYO 2016

CANDIDATE CITY

日本だから、できる。あたらしいオリンピック！
東京オリンピック・パラリンピック招致委員会

TEZUKA
OSAMU 80th
1928—2008
手塚治虫生誕80周年記念

手塚治虫 アカデミー

日本のマンガ、アニメ文化の
いまと未来を楽しみながら考える
連続シンポジウム



平成20(2008)年

11月2日(日)

①手塚エンターテインメント

11月3日(月・祝)

②アトム時代～SFか科学か

③女性マンガの世界

入場無料(全席自由) 定員400名(各回) 事前申し込み

会場=  江戸東京博物館 1階ホール

主催=東京都 財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館

後援=読売新聞社 企画・制作=手塚プロダクション プロデュース=手塚真

制作協力=アタマト・インターナショナル

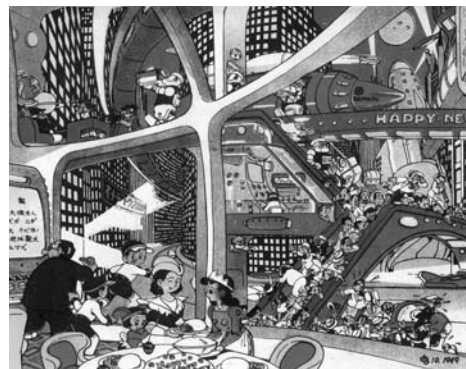
手塚治虫生誕80周年記念

手塚治虫 アカデミー



TEZUKA OSAMU ACADEMY

日本が世界に誇るマンガとアニメの天才・手塚治虫は、1928年11月3日に大阪府豊中市で誕生しました。1952年に上京。翌年から東京都豊島区にあったマンガの聖地、トキワ荘を拠点として活躍しました。2008年は手塚治虫の生誕80周年にあたります。『ジャングル大帝』『鉄腕アトム』『リボンの騎士』『ブッダ』『ブラック・ジャック』…いまの日本文化を語るとき、手塚治虫の果たした役割は単なるマンガ家としてだけでは捉えきれません。アニメやマンガの発展に対する寄与はもちろん、戦後の日本の情緒、精神、科学、アート、街づくり、ロボット技術等々、社会のあらゆる側面でその影響は計り知れない大きさがあります。そこで手塚治虫の業績を改めて検証し、その作品を未来的学問として、またアートとして捉える先進的なイベントを開催します。



【プログラム】

会場＝江戸東京博物館 1階ホール

第1期

ナビゲーター 手塚眞 司会進行 さとう珠緒



①手塚エンターテインメント 11月2日(日) 14:00～16:30

映画に比類するエンターテインメントとしてのマンガ。その成立を手塚マンガより検証し、マンガ独自のエンターテインメント論を展開する。

●藤子不二雄(A) ●浦沢直樹 ●呉智英 ほか(予定)



②アトムの時代～SFか科学か 11月3日(月・祝) 13:00～15:30

SFマンガを日本に根付かせた手塚治虫。ロボットなど現代の技術に与えた影響は大きい。はたして手塚マンガは日本を変えたのか？

●富野由悠季 ●荒俣宏 ●大森一樹 ●石上三登志



③女性マンガの世界 11月3日(月・祝) 16:30～19:00

女性マンガという世界にも稀な文化を形成した日本。手塚マンガの役割を読み解く。

●里中満智子 ●萩尾望都 ●手塚るみ子 ●藤本由香里

第2期 平成21(2009)年4月開催予定



④日本アニメの未来 アニメ文化はどこへ行くのか。

⑤アートへの道 手塚マンガから始まったマンガ・アート論。

⑥永遠の火の鳥 『火の鳥』を現代カルチャーの先端から読み解く。

東京文化発信プロジェクトとは

東京文化発信プロジェクトとは、東京ならではの芸術文化の創造・発信、芸術文化を通じた子どもたちの育成を目的として、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体等と協力して実施するもので、演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野で文化イベントを展開していきます。

東京は、世界に通用する日本の伝統文化である浮世絵や歌舞伎などをはぐくみ、今も身近に実体験できる都市です。また近年では、様々なアーティストたちによる文化芸術の創造拠点になっているほか、アニメーションに代表されるポップカルチャーを次々と世界へ送り出しています。

東京が2016年のオリンピック・パラリンピック開催の立候補都市に承認された今、あらためて「文化芸術創造都市」であることを、創造活動とその成果の発信を通じて、国内だけでなく世界に強くアピールしていきます。ぜひ東京文化発信プロジェクトに参加し、東京文化を体験・創造してみませんか。

【参加方法】

往復はがきにて、下記必要事項をご記入のうえ、ご応募ください。申込多数の場合は抽選となります。

必要事項

[1]参加希望プログラム(1枚のはがきにつき1プログラム) [2]参加希望人数(2名まで) [3]代表者名 [4]住所 [5]電話番号を明記し、復信はがきにご自身のご住所、お名前をご記入のうえ、お申し込みください。

申込ペ切

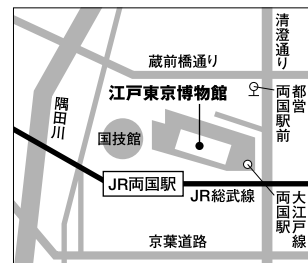
2008年10月15日(水) 当日消印有効

申込先

〒169-8575
東京都新宿区高田馬場4-32-11
手塚プロダクション
「手塚治虫アカデミー」係
※車いす席をご希望の方は、その旨をお知らせください。

■交通のご案内

- ・JR総武線 両国駅西口徒歩3分
- ・都営地下鉄大江戸線 両国(江戸東京博物館前)駅A4出口徒歩1分
- ・都バス錦27/両28/門33/墨38系統、夢の下町観光路線バス[都営両国駅前]下車徒歩3分



江戸東京博物館

〒130-0015

東京都墨田区横綱一丁目4番1号

TEL.03-3626-9974(代表)

http://www.edo-tokyo-museum.or.jp

■お問い合わせ

アタマテ・インターナショナル

TEL.03-5453-2911